

# 総選挙結果から参院選方針を提起する

自公政治 10 年を否定！ “自民、空前の大敗”。

“公明、小選挙区全滅・完敗”

民主党の数の横暴を許すな！ <改定> 09.9.10

鳩山民主党（連立）政権がスタ - トする。自公政権に対する有権者の怒りが、自公否定の意志として民主党に集中し、308 議席を獲得し圧勝した結果だ。大きく歴史が動き始めている。

背景に現代資本主義の矛盾の激化がある。失業率は最悪の 5・7% に上り、賃下げ・首切りが労働者を襲っている。加えて小泉構造改革は、生活基盤を支える福祉・医療、教育をズタズタにし、地方を破壊した。自殺者は半年で 1 万 7000 人を超え、最悪のペースで進んでいる。

今回の選挙結果は小泉政権の後を継いだ安倍、福田内閣は政権を投げ出し、麻生政権は国民の信を失い、自壊したといえよう。とは言え、民主党の圧勝は「戦略的戦術の提起」があったことを見逃してはならない。“日本列島の崩壊状況や国民生活の困窮状況を的確に把握し「国民生活が第一」の政治スロ - ガンを打ち出し、「政権交代」という選択を迫った” 政党としての巧みさがある。

一方、今回の選挙では、二大保守政党をチェックする労働者・市民の立場に立った「野党」の停滞が顕著であり、憲法を暮らしに生かす政治勢力の結集が急務であることも明らかになった。

野党に転落した自・公も復権をめざす。戦いは続く！ 労働問題をはじめ、福祉・医療など課題は山積し、その解決は今からなのである。世論調査で明らかのように、国民は手放して政権交代に期待しているわけではない。財源問題や日米軍事同盟など揺れ動く民主党政権に不安をいだき、冷静な目で行方を見つめている。熱い政治の時代は来年夏の参院選に向けて揺れ動いていく。

新社会党は、変化を求める労働者・市民と一緒にあって、グローバリズムの中で「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する」 国際社会の創造をめざして先頭に立って闘い続けたい。 先ずは参院選だ！ 本文をご覧ください。

## 政治の変革めざして参院選を戦おう

### 鳩山政権の主要な内外政策の不確定要素。

- 1、内政においては、規制緩和、民営化、大企業優遇・労働者切り、自己責任論などを変えられるか！  
そうした基本的な選択が見えない中で 扶養控除・配偶者控除廃止、 公務員人件費削減、 比例議員定数大幅削減、 数年後の消費税率アップなどを公約している。
- 2、外交面では国連中心主義と言いながらも日米基軸の世界戦略が基本である。その基での 海賊

退治の名の下にソマリア（海外）への派兵、インド洋での給油継続問題、北朝鮮への制裁強化や「船舶臨検法」の制定、など推進しようとしている。

さらに、沖縄を初めとした米軍基地の撤去・縮小、「非核三原則」の見直し、憲法改悪への潜在的方針。などの問題にどう対応するか明らかでない。

## 我々の選挙闘争方針

### 1、選挙情勢 民主党中心の政権樹立

社民党は民・社・国の連立政権に参加し、10年参院選も民主などとの選挙共闘を選択するだろう。新社会党は真の第三極をめざす選挙共闘をどこに求め、どのように共同候補を擁立するかが問われる。

### 2、第三の政治勢力結集の現状

自民でもない、民主でもない（21世紀の人間社会の在りようを追求する日本政治）第三の政治勢力を創造したいと努力する者にとって今後の国政選挙は に、私たちがめざす社会像（人間社会と日本の政治の在り方）を明確にすること。 にそのための基本的な政治理念や哲学（人民が主権者＝民主主義）を旗幟鮮明にし、政策の柱と象徴的な具体策を提示する。 にそれを実現させる政治プロセスを明確に示す。 に、現状での必要かつ不可欠な選択は、このような政策の合意に基づき共同候補の擁立や選挙協力を実現することである。

このことは、これまで政党との関わりを躊躇？してきた市民団体や労働組合も避けて通れない課題であるとの認識が迫られている。私たちはいまこそ、前述の闘争理念に基づき、貧者と労働者、若者や高齢者等の怒りを爆発させた革命的な大闘争に発展させることを戦略目標にしなければならない。

しかしながら、共同闘争に対する他党の状況は、共産党はもとより社民党もこれに対応しようとはしない。このままでは来年の参議院選挙も革新諸政党や団体による共同候補はおるか選挙共闘も困難ある。

### 3、共同の戦いで主体の強化を！

このような状況下にあっては、私達の戦いの目標は 「主体の強化に総力を挙げる」ことではない。

## 、'10年参議員選挙とその後の国政選挙。

我々はどう闘うか 次期参議院選挙での最大目標と主要政策。

### 1、参院選での主要政策

、目標は、自・民と質的な基本政策の違いを鮮明に掲げ、野党共同候補や野党共闘を追求し、いわゆる “人間らしく生きられる政治と憲法を生かす第三の政治勢力を創る” ことを基本方針にする。

（共、社との競いあいも決意する）

、選挙の主体は「9条ネット」等の形態（最大限の共同闘争）とし、基本政策の合意を追求する。

、掲げる基本政策は、21世紀の日本像を鮮明に、「外交政策の転換」と「構造改革政策の転換」とする。アメリカと一線を画し、アジア重視に。（安保、基地、自衛隊等の解消、縮小、撤去など）同時に、大企業優先政治を転換し、人間と自治の復権、暮らし優先の政治に大転換する。

## 、政策の柱と具体策、

- 、平和外交の推進 イ、日朝国交正常化の促進。ロ、自衛隊の派兵恒久法反対。ハ、ソマリアやアフガン等 海外への派兵反対。ニ、日米安保条約の解消、米軍基地の縮小、撤去。
- 、規制緩和と構造改革路線の転換、格差是正と人権尊重 「イ、後期高齢者医療制度の廃止。ロ、消費税率引き上げ反対。 ハ、派遣法廃止、パート労働者等の正規雇用化」。
- 、環境改善に努める 「イ、自然エネルギー - を活用し原発の削減、廃止をめざす。ロ、都市部のみどりを拡充し排気ガス規制を強化する」
- 、地方分権を推進し大都市集中を転換する 「イ、地方の権限を強化し、自治体の併合や道州制の導入に反対。ロ、農・山・漁村の活性化に努め、食糧の自給率を大幅にアップ（当面 60%）する」
- 、中選挙区制と全国比例代表制の併用制とする（少数者の意見を生かす）。

## 、選挙を戦う組織づくり 大小を問わずできるところから！

- 1、上記「戦略目標」と「政策の柱と具体策」に賛同する同志を結集し“新しい「政治確認団体を立ち上げる”。 「9条ネット」を改定し、例えば「世直し・9 プラス 25」、「世直し・人らしく」などとして政治の変革を求める同憂の士に参加を呼びかける。
- 2、全国遊説を展開する。（街頭や駅宣とともに屋内演説会）  
キャラバン隊を編成し、北は北海道から南は九州・沖縄まで主要な都市で街宣し賛同者を募る。
- 3、インタ - ネットを使い全国に発信する。  
ホームページやブログを開設し情報交換を行う。  
ニュースを発行し、ファックス、メール、郵送など広く情報を提供する。
- 4、活動資金づくり 当面は有志によるカンパでまかなう  
呼びかけ人は1口：10000円以上。 賛同者1口1000円（原則、会員証発行）。  
資金づくりの集会や講演会、あるいはパーティ開催。
- 5、候補者は呼びかけ人や賛同者から選出する。

皆さん！ 創意工夫して日本社会を変えようではありませんか！

人間のいのちとくらしと平和を創造するために。

以上は私個人の提案です。 お手紙やF a xなどでご意見をいただければ幸いです。

新社会党：江原 栄昭  
東京都中野区南台 2-32-1  
電話：03-3381-7656  
Fax：03-3383-8535